

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城大学で講演する加子会長



朝礼見学会で語る大丸鐵興 太田代表取締役CEO



青年経営研究会10月例会 日本銀行にて



県北・日立地区支部共催チャリティゴルフ交流会



茨城経協

CONTENTS

- 01 県南・県西・鹿行ブロック会員交流会を開催
アリババ株式会社代表取締役社長CEO 香山誠氏より講演頂く
- 03 令和元年度 第3回理事会を開催/台風19号の災害に係る緊急要望を提出
- 04 茨城大学への寄付講座がスタート
加子会長が講演
- 07 委員会報告
政策委員会/経営教育委員会/労働企画委員会/青年経営研究会
- 11 支部だより
県北・日立地区支部/水戸地区支部/
土浦・石岡・つくば地区支部/支部共通事業
- 13 慶事のお知らせ/新入会員ご紹介
- 14 偏屈爺の甘辛放談③
「求められる倫理観の確立」
＜茨城新聞社社史編纂委員(元論説委員長) 小沼平氏＞
- 15 <寄稿>
茨城労働局雇用環境・均等室 室長補佐(指導) 大久保一樹氏
「労務相談から見える職場のトラブル」
- 16 NPO情報Vol.229 <茨城NPOセンター・コムズ 代表理事 横田能洋氏>

「デジタル革命による産業組織の創造破壊と再構築から学ぶ日本の次の一手」



土浦・石岡・つくば地区支部、
取手・龍ヶ崎地区支部、県西地
区支部、古河・坂東地区支部、
鹿行地区支部の5支部は、10月
10日(木)、ダイヤモンドホール
において、**県南・県西・鹿行ブ
ロック会員交流会**を開催した。
岡本俊一 県西支部幹事長（**関彰
商事(株)取締役常務執行役員**）の
司会進行で進められ、はじめに
主催5支部を代表して、**長谷川
浩** 土浦・石岡・つくば支部副支
部長（**ぺんてる(株)執行役員茨城
工場長**）、本部役員挨拶として
加子茂会長（**日立ライフ 取締
役社長**）から挨拶を頂いた。

その後、特別講演会では、ア

**リババ株式会社代表取締役社長
CEO香山誠**（**こうやま まこと**）
氏から「デジタル革命による産
業組織の創造破壊と再構築から
学ぶ日本の次の一手」と題して
講演を頂いた。

アリババ（以下当社）は、企
業間電子商取引（BtoB）のオ
ンラインマーケットを運営して
おり、全世界に5,000万以上の
会員を保有している。製品を
持った企業（サプライヤー）が
Alibaba.com上に自社のページ
を持ち、製品を掲載することで、
世界のバイヤーへ自社製品を紹
介、新たな取引先を世界中から
探すことができる。

中国国内にあってはビッグ

データ・AIを活用したデジタ
ライゼーションの進展が目覚ま
しく、商取引から交通インフラ
に至るまで、社会に広く浸透し
ている。

香山氏はこれらのデジタライ
ゼーションを「Digital destruction
（デジタル破壊）」と呼び、これ
により既存の枠組みを破壊・再
構築し、ユーザー目線でビジネ
スを展開することが成功の鍵で
あると語る。

講演では当社が手掛ける数多
くの実例を紹介いただいた。

従来、ECでは馴染まないと
されている高級車（イタリアの
スポーツカー）であっても、
ビッグデータ・AIを活用すれ

ば、購買意向が高い富裕層をピンポイントでターゲティングし、販売に繋げられる。ターゲットに対し、オンラインでイメージ広告を配信し、これを一定時間視聴した層に対し、より詳細な広告を配信していく。購入したユーザーは最寄りの試乗車に試乗し購入を決めるというもの。実店舗や営業担当者を持たなくても高級車を販売できるスキームとして、多くの高級車販売から引き合いがあるという。

また、当社が出資する生鮮スーパーの「盒馬鮮生(フーマーシオンシエン)」はオンラインで注文した商品を配送してくれる生鮮スーパーで、消費者が専用アプリで注文と支払いができ、店舗から3km以内の地域であれば卵1個であっても、30分以内に無料で配送してくれる。このスーパーができると周囲の地価が上昇するため、不動産ディベロッパーが次々に誘致を要望しているとのこと。

その他、中国からのインバウンド富裕層が何処にどれだけいるかをマップに落とし込むことができ、集積の高い場所で富裕層向けの商品セールスを実施できること、インバウンド富裕層が渡航した経路をトレースでき、その強弱も渡航線の太さでビジュアル化できるなど、最新技術は大変に有用で興味深いものであった。

多数の画像や動画を用いての

講演であったが、特にショッキングな画像は、広大な緑地に白色の十字架が立ち並ぶ情景、墓場である。そして香山氏は続けて「変化が求められる時代にあって、リスクをとるべき時に取らなかった経営者はこうなる」と警鐘を鳴らした。その発言後、聴講者が一斉にメモを取っていた姿は印象的であった。かなり刺激的な内容に聴講者からは驚嘆の声が上がっていた。

講演会終了後には、交流パーティを開催し、**幡谷史朗 副会長(茨城トヨタ株代表取締役社長)**の乾杯挨拶で始まり、参加者間の交流が積極的に行われるなど、終始和やかな雰囲気の中で会は進められた。

中締めとして、**関正樹 副会長(関彰商事株代表取締役社長)**より挨拶いただき、散会となった。

心を込めて、信頼できるカーライフ

茨城トヨタ

C-HR



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町 1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

Drive Your Dreams. 人。社会。地球の新しい未来へ。



第9次中期運営要綱策定状況、 県政への提言・要望書の提出を承認



挨拶に立つ加子会長

当協会は、10月7日(月)、水戸市・三の丸ホテルにおいて、本年度**第3回理事会**を開催した。

加子茂会長(㈱日立ライフ取締役社長)はじめ理事、監事、参加が出席した。

冒頭、加子茂会長が挨拶に立ち、「本日はご多用の中、第3回理事会にご出席をいただき誠にありがたく感謝申し上げます。経協の事業につきまして、本年度は、「第8次中期運営要綱」の最終年度でありまして、『会員の声に耳を傾け、会員、地域から頼りにされる茨城経協へと進化する』という基本方向に則り、会員訪問活動を積極的に展開し

ている所でございます。会員増強運動につきましては、年度当初の1,234社から、現在1,248社と、14社の純増となっておりますのも、皆様のほか、全支部の役員、幹事の方々のご尽力があつてのことと思います。改めまして御礼申し上げます。

本日は上期の事業活動報告、第9次中期運営要綱策定の進捗状況、県政への要望などについてご審議いただきますので、忌憚のないご意見をお願いします」と挨拶。

次に加子会長が議長となり以下の議案が報告・審議され、それぞれ承認された。

① 令和元年度上期事業活動報

告(会長、専務理事の職務遂行状況報告)

② 令和元年度新会員の入会の承認を求める件

③ 第9次中期運営要綱策定の進捗状況の承認を求める件

④ 茨城県政への提言・要望案について

特別講演として、管理栄養士、日本糖尿病療養指導士の**長田史恵氏**より「**毎日の食事から健康づくり**」と題し、食事のとり方のポイント、アルコールとの付き合い方などについての講演があった。

終了後、本年度の新会員を招いての新入会員歓迎交流懇親会を開催、盛会裏に終了した。

県内経済4団体が台風19号の災害に係る緊急要望

令和元年11月6日(水)、台風19号の被災企業への早急な復旧・復興に向けた支援、また災害復旧に向けた対策強化を求める緊急要望を、県内経済4団体(経営者協会、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会)で取り纏め、要望書を提出した。

要望は、茨城県知事および県各部、経済産業

大臣・関東経済産業局長・国土交通大臣に対し行われた。要望項目は下記参照。

- ① 被災企業の早急な復旧・復興に向けた支援
- ② 新たな融資制度の創設と支援拡充
- ③ 観光関連企業に対する支援
- ④ 災害対応型小規模事業者持続化補助金による支援拡充
- ⑤ 支援施策説明会および相談会の開催
- ⑥ 災害からの復旧に向けた対策強化

『働く意義・学ぶ意味』

～社会人に向けた心構えと資質・能力の開花・育成～



本講座は平成19年に経営者協会が創立60周年を迎えるにあたり、記念事業の一環として、茨城県を代表する企業経営者・管理者が講義を行い、地域経済や業種毎の実態と各社が実践している経営活動や社会貢献活動などについて、学生の理解を深めるとともに、学生が将来社会人として生きていくための心構えと大学で学ぶ意味を明確にすべく、優れた資質・能力の育成に資することを目的に開設したものです。本年度で13回目の講座開設となる。

去る10月10日(木)同大学にて開講式が開催された。約80名の学生が受講、講義室は若い熱気に包まれた。

加子茂会長((株)日立ライフ取締役社長)が開講に際し登壇し、本講座の意義、学生に期待することについて講演した。

「まずは本年も茨城大学において、茨城県経営者協会の社会貢献事業の一つである寄付講座が開講できますこと、三村学長をはじめ大学関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。今年の講師陣は例年にも増して多種多様であり、経営者の実体験に基づいた、皆さんに参考になる話が聞けると思うので大いに期待して下さい。講師に対しては『働く意義・学ぶ意味』について講義に盛り込むよう要請しております。どのような話にするか講師にお任せしています。そういう意味では、経営者によって皆さんに伝えたいことがそれぞれ違うと思います。私は、このような経営者の色々な切り口の話聞くことが、皆さんが多様な価値を形成する上での源泉になるのではと思っています。皆さんには是非、経営者の人間力

の一端に触れて頂ければと思います。皆さんが大学でしっかり学び、社会に出て大いに活躍するために、大学も企業も真剣になって取り組んでいることを心に刻んで講義に臨んで頂きたいと思っています。

それでは、これより、日立ライフについてお話をさせていただきますが、併せて、当社を例にとり、会社を見ていくにあたって、考えるべき視点や、経営にあたって私が日頃感じていること等も、適宜、お話していきたいと思います。株式会社日立ライフは、本社は日立市日立駅前、創業は古く1939年今年で創業80周年になります。ここで触れておきたいポイントは『創業』であります。当社の場合ですと、1939年はどんな年であったか？会社設立の目的は？どの会社にも『創業』があります。会社を考えるにあたって『創業』という視点は押さえておくべきポイントです。

当社は日立製作所を創業した小平浪平によって日立土地という会社として設立されました。1939年というのは、日立製作所が日立鉱山から名実ともに独り立ちをしていく時期でした。それまでの日立製作所の従業員

の福利制度は、全て日立鉾山の福利制度の中に組み込まれていました。この年、多賀工場が新設される等、日立製作所も大きくなったので福利制度も自前で持つべきだとの機運が高まり、その運営会社が必要になったことと、また、毎年増え続ける従業員の寮、社宅の建設が急務であったことから、日立土地が設立されました。また、日立病院もこの時設立されています。当社は日立製作所の福利会社として日立市発展の歴史とともに歩んできています。

次に、どの会社にも最上位概念として『理念』(ミッション)があります。『理念』とはその会社が社会に果たすべき使命ということでもあり、それは創業の精神と繋がっています。日立製作所の企業理念は、『優れた自主技術・製品を通じて社会に貢献する』であり、当社の使命『日立ライフは、優れた商品・サービスの開発を通じて、『地域の活性化』と『日立グループ及びその従業員・OB全てのQOL (Quality of life)向上』に貢献する』もこの日立製作所の企業理念をもとに作られています。ここでのポイントは『企業理念』であります。企業理念は会社の原点であり、会社の大きな方向性を決する時の拠り所となります。また、日立製作所の企業理念にもある『社会貢献』が、詰まるところ全ての会社の理念の

行きつくところだと言えます。そういった企業理念のもと、現在のビジネス環境を踏まえ、具体的にどのようにビジネスを進めていくかといった方針が企業ビジョンであります。ビジョンは時代の変化に即応し変革していく必要があります、そういう意味では、『理念(ミッション)』は不変、ビジョンは可変と言えます。

当社のビジョンとしては、リ・ライフシステムの実現と置きました。これは、世の中のニーズは、従来の開発・整備(ハード)から、生活関連のきめ細かなサービス(ソフト)へと変遷してきております。当社はイノベーションの真ん中に『リ・ライフ』とおき、当社がこれまでに開発してきた商品やサービスを有機的につなぎ、ライフステージごとに様々なお客様のニーズにお応えしながら、事業を通じて生涯にわたる良きパートナーとなれることを目指します、ということです。

それでは、次に、私が考える働くことの意義・学ぶ意味についてお話をさせていただきます。

人は何のために働くのでしょうか？生活の糧を得るため。これは不変の原理だと思います。しかしながら、自分が面白いと思わないことを生活の糧を得るためにイヤイヤやるとしたら大変辛いこととなります。やはり人は、仕事を通じて、自己実現

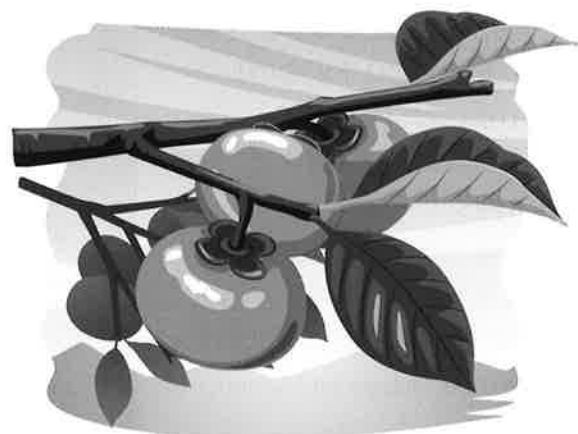
をはかり自分の人生を豊かにする、よって以って社会に貢献することだと思えます。もつとも、仕事は最初から常に面白いものでもありません。むしろ、最初は何でこんなことをしているのだろうと思うようなこともあるかもしれません。そういう時は、この仕事をするによって何が実現できるのだろうか、どんな達成感が得られるのだろうかを考えてみて下さい。そして、この仕事は面白いと思えるか。この仕事を面白くすることができるか。を自分に問うてみて下さい。これからは、与えられた課題を解決する能力より、自ら課題を設定する、できる課題設定能力が問われる時代と言われています。課題設定ということでは、就職を考えるにあたり、何を達成したいのかというゴールを決め、そこかそれに至る手段をフレキシブルに考える。ゴールは不変、手段は可変です。また、就職については、就職=就社という時代ではなく、なると思えますので、まず、自分のありたい姿を決めて、それに向かって面白いと感じられ、自己実現ができる仕事を見つけたいということだと思えます。」

令和元年度 茨城大学・寄付講座 出講リスト

・令和元年10月10日（木）～令和2年1月30日（木）10:20～11:50

（敬称略）

回数	日程	業種	企業名	役職名	氏名
1講	10月 3日	ガイダンス	—	—	—
2講	10月10日	開講式	(一社)茨城県経営者協会 (株)日立ライフ	会長 (取締役社長)	加子 茂
3講	10月17日	研修講師	印象エキスパート(株)	代表取締役	柳沼 佐千子
4講	10月24日	製造	(株)中村自工	代表取締役	中村 弘樹
5講	10月31日	金融	(株)常陽銀行	取締役会長	寺門 一義
6講	11月14日	製造	(株)月の井酒造店	代表取締役	坂本 敬子
7講	11月21日	サービス	(株)ユーゴー	代表取締役	沼崎 周平
8講	11月28日	小売・卸	水戸ヤクルト販売(株)	代表取締役	内藤 学
9講	12月 5日	小売・卸	(株)成島	代表取締役	成嶋 祐介
10講	12月12日	製造	ヤマダイ(株)	代表取締役	大久保 慶一
11講	12月19日	小売・卸	関彰商事(株)	代表取締役社長	関 正樹
12講	12月26日	ES・プレゼンのつくりかた	—	—	—
13講	1月 9日	模擬面接	—	—	—
14講	1月16日	学生生活と就職活動	—	—	—
15講	1月30日		(一社)茨城県経営者協会	労働企画担当課長	後藤 泰男



政策委員会

理事会提出議案等について検討、委員の意見交換も

10月7日(月)、第2回政策委員会(正副会長・各支部長・各委員長等主要役員会議)が水戸市・三の丸ホテルにて開催され、会務報告、理事会提出議案として上期事業報告、第9次中期運

営要綱策定状況、県政要望・提言案などについて意見交換が行われた。

加子茂会長の挨拶のあと、高橋日出男副会長が議長となり議事を進めた。

②令和元年度新会員の入会の承認を求める件、③経協としての「県政に関する要望案」について事務局より説明があり、理事会への提出が了承された。

また、令和2年～4年の3カ年の中期計画である第9次中期運営要綱について総務委員会を中心に検討いただいている基本構想案の説明があり、引き続き策定作業を進めることで承認された。

その後、各地区支部長、各委員長間の意見交換がなされた。



会務報告では、会員状況、会計状況、行政の動向などが加藤専務理事より説明があった。

理事会提出議案の①令和元年度上期事業活動の報告と下期の主な計画、

7

経営教育委員会

令和元年度 第2回委員会を開催

経営教育委員会(委員長 篠原智氏(株)筑波銀行専務取締役)は、9月18日(水)、経営者協会会議室にて本年2回目となる委員会を開催。当日は、事務局含め22名出席のもと、本年上期に実施した事業報告と下期に開催を予定している事業の具体化について協議がされた。

【今後、同委員会で予定されている研修事業は下記参照】

- ① 第10期 管理職リーダーのためのマネジメント講座
 - ※ 3回シリーズ
 - テーマ：管理者に必要な基本的要素を網羅する ※ 「やる気にさせる人への接し方(TWI-JR Training Within industry Job Relations)」を学ぶ

開催日：1/15(水)、2/3(月)、2/10(月) 時間は何れも10:00～17:00
 講師：日本産業訓練協会主幹講師 府川亮一氏
 場所：ホテルレイクビュー 水戸

② 第2回 研修企画・運営実務者講座
 テーマ：社内教育担当者を対象に、社員教育のあり方・進め方を学ぶ
 開催日：2/14(金)9:00～17:00
 講師：日本産業訓練協会主幹講師 山口和人氏
 場所：茨城県産業会館



経営教育委員会

第18期「取締役・役員のためのマネジメント講座(4回シリーズ)」を開催

経営教育委員会(委員長 篠原智氏(株)筑波銀行専務取締役)は、本年度で18年目を迎える4回シリーズの講座「第18期 取締役・役員のためのマネジメント講座」を9月26日(木)を皮切りに開催。本年度は62名の受講申込みがあった。

第1講では、**グロービス経営大学院経営研究科研究科長の田久保善彦氏**を講師にお招きし「VUCA時代にリーダーとして、



何に、どう、向き合うか？」をメインテーマにご指導頂いた。第1講の参加者アンケートからは「物事の考え方、捉え方が非常に参考になった。特に10年後の企業のあり方を見据えることの大切さ、また“子は親の言うとおりに動かず、親がするようにする”のお話はとても心に響いた」「日常業務の繁忙さから、自社の将来像を描くことに手をつけられていない現状がある。リーダーとしての立場・役割を本講義で改めて自覚し、実行しなくてはと反省した」といった感想が寄せられた。

各回テーマと講師は枠内参照。

(第1講・9月26日(木))
テーマ：VUCA時代にリーダーとして、何に、どう、向き合うか？
講師：グロービス経営大学院経営研究科研究科長 田久保善彦氏

(第2講・10月29日(火))
テーマ：知っておくべき取締役・役員の職責
講師：関・山形法律事務所 弁護士 山形学氏

(第3講・11月28日(木))
テーマ：簡単にわかる！決算書の見方・読み方
講師：財務リスク研究所(株)代表取締役 横山悟一氏

(第4講・12月11日(水))
テーマ：コンプライアンス経営の推進～経営幹部の役割とリーダーシップ～
講師：(一社)経営倫理実践研究センター特別首席研究員 田中宏司氏

労働企画委員会

第9期「若手の人事労務担当者の勉強会」を開催。

労働企画委員会(委員長 曾根徹氏(株)日立製作所日立事業所副事業所長)は10月2日(水)、茨城県産業会館大会議室において、第9期目となる「若手人事労務担当者のための勉強会」をスタートさせた。

本勉強会は、会員各社の若手の人事労務担当者が学び合いを通じて、労務管理スキルの向上と同世代の「仲間づくり」を目的として開催するもの。

第9期メンバーは21名。全4回の会合を通じて、①人事労務担当者が日常業務で判断に迷うポイントを、参加メンバー同士でディスカッションを行い、他社(他者)での実務、考え方、解決方法を学び合う、②さらに講師(大和田一雄弁護士、関谷将明弁護士、廣田順子弁護士)から労働法、裁判判例等を踏まえた、理想的な労務管理を学ぶことで、トラブルを未然に防ぐ

労務管理の確立を目指す。

第1回目会合では、「イマドキの問題社員に対する会社としての対応」について、メンバーを3グループに編成し、グループごとに回答を検討しあった。

参加者からは「労務管理の分野ではどうしてもこれまでの自社だけのルールが絶対視され、他社の状況を踏まえた判断をすることが少なかった。勉強会を通じて、このような考え方もあ

るのか、このような手順を踏んで進めなければならなかったのか、といった新鮮な気づきを得られた。残り3回もメンバーと有意義な情報交換を行いたい」との声が聞かれた。

次回会合は10月30日(水)、「近年対応が求められる領域が拡大しているハラスメントへの対応」をテーマに学びを深める。

＜第9期メンバー会社＞

茨城電機工業(株)、関東通運(株)、常南物流サービス(株)、関彰商事

(株)、中電興産(株)、(株)日立パワーソリューションズ、(株)日立ビルシステム水戸事業所、NTT東日本茨城支店、関東鉄道(株)、(株)JWAY、タカラビルメン(株)、(株)トヨタレンタリース茨城、日立化成(株)下館事業所、(株)日立ライフ、(株)カスミ、(株)ケースホールディングス、日本製鉄(株)鹿島製鉄所、日

本システム・エイト(株)、ネットヨタ水戸(株)、(株)日立茨城テクニカルサービス、三菱日立パワーシステムズ(株)



青年経営研究会

交流拡大委員会が10月例会を開催

青年経営研究会(会長 栗山武志氏 栗山電気(株)代表取締役)は、10月4日(金)、東京都内にて10月例会を開催し、事務局含め21名が参加した。

今回の例会は交流拡大委員会(委員長 増田貴之(有)ヘルスケ

ア一下妻 代表取締役)の企画立案で開催され、日本銀行本店などを見学した。

はじめに、日本銀行本店を訪れ、同行の情報サービス局員より「日本銀行が何をしているところか、知っていますか？」を

テーマに、同行の役割や業務などについて解説いただいた。その後、国の指定重要文化財に指定されている施設や1階営業場等を紹介いただき、江戸時代の金座(金貨製造所)の跡地に建てられた明治時代の貴重な本格的洋風建築物等を見聞した。

見学後には、TV番組や雑誌等で話題のレストランである「Casita(カシータ)青山本店」を会場に、独自の手厚いサービスを提供しリピーターを作る一流の接客術に触れる懇親会を開催し、参加者間の交流を深め散会した。





当協会では、創立70周年記念事業として、10月16日(水)に、会員企業でもある、猿島郡境町の**大丸鐵興株式会社**（代表取締役CEO **太田慶樹氏**）にて“朝礼見学会”を開催し、当日はラジオ体操の後、活力朝礼、そして工場施設を見学した。

同社は、鋼板の大型一貫加工・プレスによる輸送機・建設機械部材製作、また、自社ブランドのステンレス燃料タンクや非常時給水タンクシステム「みずがめ君」の製造など、競争をしない最良の製品づくりを目指し、“進化し続けるものづくり”を経営理念に掲げている。

活力朝礼では、社員全員での企業理念、挨拶、返事の唱和を行っていた。全員が明るく大きな声を出し、一日の始まりに士気を高揚し、心を合わせることが目的である。全体の統制が非

常に良くとれており、各自の声もハッキリとしており、社員の皆様の活力や一体感が感じられた。

工場施設見学においては、同社の持つ最新鋭の設備と共に、実際に現場で働く社員の方々の活力ある姿を間近に拝見するこ

とができた。

最後に、同社、太田社長より、朝礼の意義や活力朝礼の目的など同社の取り組みについて丁寧にご説明いただいたことに加え、質疑応答においても多岐に亘る質問や意見に丁寧にご対応いただき、終了となった。

見学参加者からは、「従業員の幸せを考え、価格競争に陥らない分野での取組みが間近に見学でき良かった」「形を大切にする活力朝礼が定着しつつある状況、また、太田社長の大事にしている考え方が素晴らしかった」「こんな場所まで見せていただけるのかという位、内容が濃かった」との感想をいただき、有意義な見学会となった。



県北・日立地区支部

共催チャリティ・トップ交流会を開催

県北地区支部（支部長 津村昭洋氏（株茨城サービスエンジニアリング代表取締役社長）、と日立地区支部（支部長 館岡司氏 日立埠頭株取締役社長）は10月5日（金）、茨城パシフィックカントリー倶楽部において、共催にてチャリティ・トップ交流会を開催した。参加者32名か

ら50,000円がチャリティ金として拠出頂き、働く人を含む地域の自殺防止に取り組む「茨城いのちの電話」に寄付された。



水戸地区支部

令和元年度水戸地区支部総会を開催

水戸地区支部（支部長 齋藤貢氏（株水戸京成百貨店 代表取締役社長）は、9月25日（水）、水戸京成ホテルにおいて、令和元年度水戸地区支部総会を開催、事務局を含む128名が参加した。

開会にあたり、齋藤支部長より「加子会長のリーダーシップのもと、会員増強に積極的に取り組んでおり、本日現在の会員数は1,246社となりました。先月の8月末の全国経営者協会の会員数では、昨年同時期と同じく東京都、千葉県に続く第3位であるとのこと。そうしたなか、水戸地区支部におきましては、当協会の最多の会員数を誇る支

部として、今後とも、会員皆様方のご意見ご要望を頂戴しながら、会員さんに喜んでもらえるような支部活動を展開していく所存です」との挨拶がなされた。

続いて、加子会長より「昨年度より70周年記念事業として開催いたしました「いばらき塾」について、各方面より大きな反響をいただいたことから、今年度におきましても第2回「いばらき塾」を開催することとなりました。今年度におきましては、「幕末から明治期の茨城～近代の茨城と世界～」をメインテーマに、茨城県の知識を深めたい方や、茨城に赴任された方などを対象に、茨城県の「歴史」や「風土」、「産業」、「地域資源」などについて理解と見識を深め、その魅力を再確認していただくことをコンセプトにし、合計4講シリーズでの開

催を予定しております。なお、今年度におきましては、茨城新聞に紹介記事が掲載されたことにより、特に一般の申込みが増加しております。総体では昨年対比2割以上の参加申込みをいただいております。今後とも、会員の皆様の声や要望をヒアリングさせていただき、質の高いサービスが行えるよう取り組んでまいります。」との挨拶がなされた。

その後、令和元年度水戸地区支部活動等についての報告後、新入会員の紹介がなされ、総会を終了した。

講演会では、講師に株式会社サザコーヒー代表取締役会長 鈴木誉志男氏をお招きし、「わたしの起業プロデュース人生 生き残りコーヒー屋の軌跡～茨城愛と食文化～」をテーマに講演をいただいた。講演終了後には、会員交流会を開催し、会員間の交流を深め散会した。



土浦・石岡・つくば地区支部
(支部長 田淵道文氏 日立建機(株)執行役専務開発・生産統括本部長)の人事労務研究会(代表世話人 塚崎俊一氏 関東情報サービス(株)代表取締役社長)は9月18日(水)、土浦市内において世話人会を開催した。

世話人会では、令和元年度人事労務研究会活動計画について協議が行われた。協議の結果、以下の通り、活動計画が決まった。

【第1回】令和元年11月6日(水)
「ITツールを用いた『業務の見える化』による働き方改革と未

払い賃金リスク回避」

①「『働き方改革』に関わる法律実務」

弁護士 川久保皆実氏

②「ITツール「Log+(ログタス)」を用いた働き方改革実践事例」

(株)シンプルウェイ 代表取締役 大野裕介氏

【第2回】令和元年11月25日(月)
「心を疲弊させない、心が軽くなる、営業・接客・社内コミュニケーション技術(スキル)の向上」

印象エキスパート(株) 代表取締役 柳沼佐千子氏

【第3回】令和2年1月23日(木)

①「『採用』に繋がる自社の経営資源を再確認、そして、経営資源を最大限に活用するためのワークショップ」

徳田社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 徳田徹也氏

②「数十社、数百人来場の合同説明でも“選ばれる”担当者となる印象形成スキル」

印象エキスパート(株) 代表取締役 柳沼佐千子氏

【第4回】令和2年2月

「障害者雇用について学ぶ」

支部共通事業

新入社員フォローアップセミナーを開催

去る10月3日(木)(水戸会場)、4日(金)(土浦会場)の両日、支部共催事業「新入社員フォローアップセミナー」を開催した。参加者は2日間延べ70名であった。本セミナーは、4月に開催した新入社員セミナーで学んだことが理解、定着、行動出来ているかを確認するもの。講師は4月開催セミナーと同様に、(株)ヒューマン・ブレンディの田寺尚子氏にお務め頂いた。

本セミナーでは、4月の研修で特に強調された社会人として必須のスキルである言葉遣い、電話対応、報告・連絡・相談、伝え方等について理解し、行動に移せているかを確認した。業種、職種の異なる参加者が約

6ヶ月間の社会人経験を経て再開し、全員が参加するロールプレイを通じて、自己と他者の成長度合いを確かめ合う研修となった。

その中でも、各社の経営理念に基づく経営目標の達成に向けて、求められる能力、成果と現状とのギャップを埋めるための「アクションプランシート」の作成は、参加者にとって有益な内容となった。半年後のあるべき姿は？1年後のあるべき姿は？、そのあるべき姿になるため、いつから行動を始めるか、どの課題

に最優先に取り組むべきか、途中経過をどのように把握するか、など新入社員が来春「先輩社員」になるための準備に取掛かるきっかけとなった。

新入社員セミナーおよびフォローアップセミナーは次年度も開催の予定。



指導する田寺講師

慶事のお知らせ

本年度秋の叙勲・褒章受章者、また茨城県表彰が発表され、下記の方々が受章されましたのでご報告致します。

【旭日単光章】

植木正明氏 元有限会社茨城県西自動車学校 専務取締役

【茨城県功績者表彰】

阿部真也氏 日東電気株式会社 代表取締役社長

溝口輝明氏 溝口鍍金株式会社 代表取締役社長 茨城県鍍金工業組合理事長

【茨城県新しいいばらきづくり表彰】

仁衡琢磨氏 ペンギンシステム株式会社 代表取締役社長

三村泰洋氏 相鐵株式会社 代表取締役社長

新入会員紹介

有限会社櫻井運輸

■代表取締役 櫻井 正孝



Data

所在地/茨城県古河市高野903-1

TEL/0280-92-3188

業種/物流業

従業員/19名

Arrival point

弊社は、1964年創業の物流会社です。

運送事業では、「安全・安心」を心掛け、3000日を超える連続無事故日数記録を日々更新しております。

倉庫事業では、本社倉庫、本社危険物倉庫、板倉物流センターを保有しお客様の多種多様なニーズにお応えするため、きめ細かな物流サービスをご提供しております。

また、平成30年から新たに作業環境改善事業を開始いたしました。

業務用冷風扇・換気扇の販売、作業空間の改善コンサルティングを通して快適な職場環境づくりのサポートをしております。

この度の入会を機に、経営者として研鑽を積ませていただき更に社会に貢献できるよう精進してまいります。

今後ともご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

偏屈爺の甘辛放談③

求められる倫理観の確立

山中伸弥氏といえば、iPS細胞の作製に成功し、2012年のノーベル生理学・医学賞を受賞したことで世界的に知られる生命科学者である。iPS細胞は身体のあらゆる細胞に分化する能力を持つ万能細胞で、治療法が未だ確立されていない難病の原因解明や新薬開発、再生医療などに幅広く活用できるものとして注目を集めている。山中氏は「がんをはじめとする多くの難病治療に役立てられることで、10年後には人間の平均寿命が10年ほど伸びるかもしれない」と、その効果を語っている。

■生命科学の「負の遺産」に警鐘

このiPS細胞の開発に象徴されるように、医療・科学分野における急速な研究の進捗によって人類の平均寿命は今後ますます伸び、「人生100年時代」の到来も目前に迫っている。そうした中で、現在の人類がいま置かれている状況を山中氏は次のように説き、警鐘を鳴らす。

「宇宙が生まれて百数十億年、あるいは地球が生まれて46億年、生命が生まれて38億年。その中で僕たち人類の歴史はほんの一瞬にすぎません。しかし、そんな僕たちが地球を変え生命も変えようとしている。長い時間をかけてできあがったものを僕たち人類は今までになかった方法で変えつつある。よい方向に進むことを祈っていますが、一步間違えるととんでもない方向に行ってしまう。そういう恐怖を感じます。研究がすさまじい速度で進展することの素晴らしさと同時に、恐ろしさも再認識しました」と現在の心情を吐露している。

■脅かされる地球の存続

まさに近年の科学技術の急速な進歩が、私たち人類の生活を豊かなものにする一方で、地球の生命に対して脅威を与えている訳だ。そしてそれは生命医療の分野のみならず、地球温暖化による台風や干ばつなどの異常気象によって地

球の存在そのものにも影響を及ぼしつつある。台風や地震、津波、寒波や大干ばつなどの災害は、人類文明に対する自然界からの警告であり、地球の悲鳴のようにも受け取れる。

それはわが国において、平成の30年間に限っても阪神・淡路大震災（1995年1月17日）や東日本大震災（2011年3月11日）のように巨大地震が襲い、津波被害を含め甚大な被害を及ぼした。さらに近年では昨年7月に西日本で記録的な豪雨被害が発生し12府県で死者225人、行方不明者11人も犠牲者を出した。今年に入ってから、直近では9月の台風15号、10月の台風19号などが関東を中心に襲い、大雨や暴風などによって被害が続出した。

本来、私たちの住む日本は、万葉の時代より春夏秋冬、美しい四季に恵まれ自然の移ろいを通して、もののあわれや情緒といったものをはぐくんできた。しかし近年は地球温暖化による海水面の上昇も起因してか、日本の国土自体が亜熱帯化しつつあり、台風も7月から11月まで1年の半分近く列島を襲来するようになってきた。

こうした自然界の変化は人為的なものが多分に影響していることは間違いない。温暖化への取り組みは、かつてはオバマ大統領の下で米国などが主導権を発揮し先進国を中心に一体となって取り組む姿勢が見られたが、トランプ大統領になってから大きく後退している。

急速に進む生命科学研究や地球温暖化などを前にして、いま人類に求められているのは、こうしたさまざまな事象に謙虚に向き合い、人としての倫理観を確立したうえで的確な判断のもと、行動につなげていくことだと思っただけ…。負の遺産を次の世代に引きずらないためにも。

茨城新聞社
社史編纂委員
元論説委員長

おぬま たいら
小沼 平氏

労働相談から見える職場のトラブル

茨城労働局 雇用環境・均等室 室長補佐（指導） 大久保 一樹氏

茨城労働局の相談窓口ではパワハラに関しても様々な相談を受け付けています。その中には、典型的なパワハラ事例だけでなく「これはパワハラと言えるのか？」といった相談も少なくありませんが、これからは職場でのパワハラ対策が重要になってきます。

タイムカードの位置が入れ替わってます！

製造工場ではたくさんのパート・アルバイトが主力となっているところがありますが、労働時間の記録は、まだまだ機械式のタイムカード（「ガッチャン！」で打刻されるタイプ）が活躍しています。

労働者が多く集まる場所ではその職場特有のルールなどが形成されていることが多く、そのルールにまつわる様々なトラブルが起ります。

その1つとして誰からタイムカードを打つかという問題があります。

機械式のタイムカードは、タイムカードをホルダーから抜き出し、それに打刻してまた元の場所に取めるまでに少し時間がかかります。

製造工場では、終業時、一斉にパート・アルバイトが退出しますから、帰りは大渋滞ですので誰が先か後かというトラブルにつながります。

また、タイムカードを打つ順番のほか、タイムカードを差しておく置く場所にもルールが出来てきます。

タイムカードのホルダーが縦型の場合、タイムカードの位置がなんとなくその職場での上下関係を表すようになり、知らない間にタイムカードの位置が下のほうに追いやられていると（あるいは仲の良い同僚と位置が逆転していると）ムツとする人が出てくるのです。

例えば、タイムカードの位置を変えた者に、いじめ、嫌がらせの意図が無かったとしても、それが嫌がらせだ！パワハラだ！と言われることがあるのです。



【パワハラ対策が義務化されます！】

本年6月に労働施策総合推進法の改正があり、パワハラ防止のための雇用管理上必要な措置を講じることが事業主に義務付けられることになりました。（令和2年度以降に施行され、中小企業への適用はその2年程度後になると見込まれています。）

厚生労働省では、職場のパワーハラスメント対策の導入に向けて「パワーハラスメント対策導入マニュアル（第4版）」を作成・配付しています。

「パワーハラスメントとは？」から始まり、パワハラ予防から事後対応までの取組方法が紹介されていますので、ぜひ職場でのパワハラ対策にご活用ください。

※茨城労働局（雇用環境・均等室）でも配布しています。



厚生労働省

【あなたの会社にも、「NOハラスメント ポスター」を掲示しませんか？】

このポスターとパンフレットを、先着1000社様に無料で送付いたします。（申込締切：来年2/29）

興味のある方は、厚生労働省HP「あかるい職場応援団」の申し込み案内をご覧ください！

なお、「あかるい職場応援団」では、ポスターのほかにも職場で使える資料などがダウンロードできますのでご利用ください。



台風19号被害からの復興・復旧に向けて、私たちに出来ること

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田 能洋氏

10月の台風被害に遭われた方々お見舞い申し上げます。私の住む常総も鬼怒川の水位が上がりあと少しで4年前の水害を繰り返すところでした。今回は、地域にショートメールで情報を流す準備をしていたので、店舗が何時に閉まるとか、避難所はどこが開いたとかを知らせることができました。外国語でも流せたほか、避難所では外国語で情報が得られるサイトの案内などをしました。前回の水害では多くの人が避難が遅れたのをうけ、今回は早めに避難する方々が多かったのですが、市内の避難所は人が入れず、避難所の整備と安全な時間帯に早めに避難するための訓練が必要だと改めて思いました。

今回の台風では県北、県央で河川の氾濫が起きました。私たちは大子町に毎週通っています。アクセスしにくくボランティアが不足していると聞いたからです。私たちは、社会福祉協議会の災害ボランティアセンターと情報共有しつつ、別の活動をするにしました。ボランティアがすることは濡れた畳や家財などを搬出したり、家の外壁についた泥を洗うことが多いです。その作業は水害から2、3週間を経て収束しつつあり

ます。次の課題は床下や壁の乾燥と消毒です。床下の乾燥、消毒をしないままだと、カビが増えたり家が傷む可能性があります。行政は消石灰とオスバンという薬品を各世帯に配っていますが、ほとんどの住民がそれをどのようにどこに散布するのかわかりません。そこで、私たちは、被災した住宅をお借りし、その場で近所の皆さんに集まっていただき床下消毒の仕方、その前に乾燥させること、濡れた壁の処理の仕方の講習会をしています。合わせて被災者支援制度の説明もしています。こうした情報を今の時期に届けないと、家が傷んだり、得られたはずの支援が受けられたかたりするので、常総の経験を伝える活動をしています。

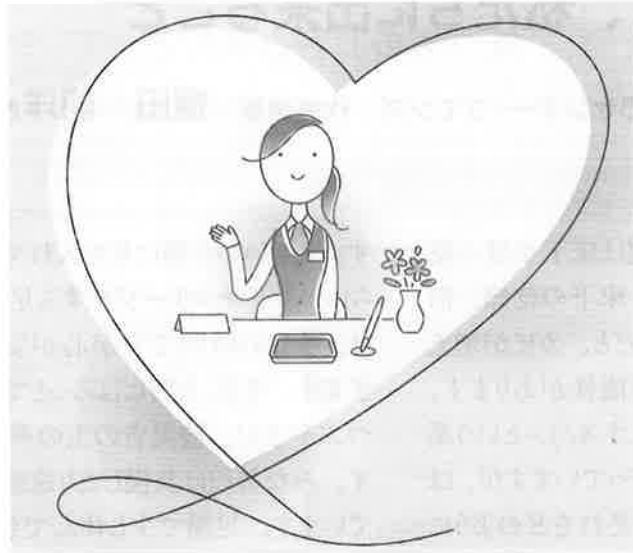
被災した方で、特に水害対応保険に入っていなかった方は、これから家をどう直せばいいか、お金をどうすればいいか、悩みに直面します。連日の片づけで疲れもたまっています。そんな時に、災害ボランティアセンターが終了しボランティアも来なくなると、とても心細い状況になります。常総の時もそうでしたので、私たちが当時行った次の活動をするにしました。ぬくもりを届けるサロンで

す。たらいのお湯に足を入れてもらいハンドマッサージをする足湯は、少しの時間ですが心が安らぎます。そうした時にほろっとでるつぶやきが、被災者の生の声です。みな普段は我慢したり遠慮しています。足湯で少し休んでもらいつつ、本当はこれで悩んでいるというニーズを聴かせてもらい、共にできることを考えます。聴いてくれる人、心に寄り添ってくれる人が心の支えになると思います。そこに温かい食事の炊き出しをしたり、マッサージや相談対応ができる人もいれば尚良いと思います。私たちはこれから週末に被災地の集会所などをお借りして、こうした活動を計画しています。ボランティアの参加でもいいですし、食事や食品の提供でもいいです。可能であれば、これから防寒器具や防寒着が必要になりますので、そうした物品の提供なども有難いです。コモンズでは、細く長く被災地の人たちに寄り添う活動、人の繋がりをつくる活動をしていこうと思います。こうした活動の財源となる寄付も募っています。

ぜひ、可能な形で被災した人たちを応援する活動にご参加下さい。

コモンズのウェブサイトは、<http://www.npocommons.org>

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ



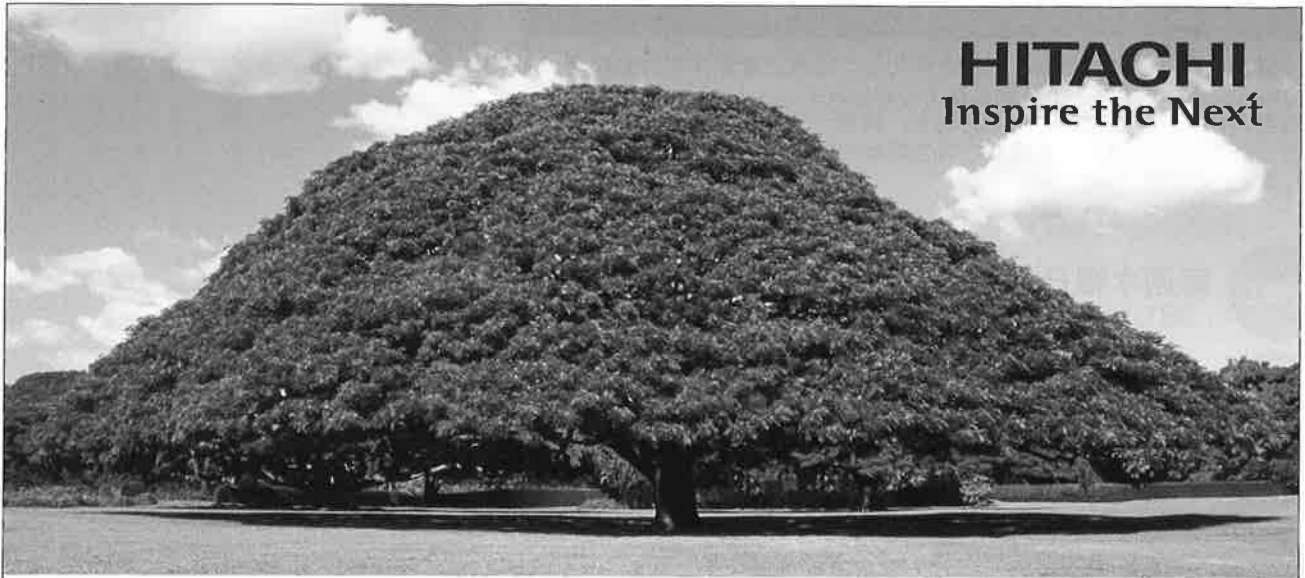
株式会社 カスミ 〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1
TEL.029-850-1850

KASUMI

<https://www.kasumi.co.jp/>



HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立化成株式会社 日立建機株式会社 株式会社日立ハイテクノロジーズ
日立グローバルライフソリューションズ株式会社 日立オートモティブシステムズ株式会社 株式会社日立産機システム 株式会社日立インダストリアルプロダクツ



全国ネットの人材情報で **出向・移籍**をサポート!

全国ネット

全国47都道府県の
事務所で取扱って
おります。

信頼と安心

経済・産業団体と国
の協力で設立された
公益財団法人です。

無料

情報の提供、相談、
あっせんの費用は
かかりません。

登録

在職中の登録が
必要です。

 公益財団法人 **産業雇用安定センター 茨城事務所**

〒310-0803 茨城県水戸市城南 1-1-6 サザン水戸ビル4階

TEL 029-231-6044 FAX 029-233-3602

URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

Flow chart

- 賃金関係** 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?
- 労働組合** 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?
- 助成金制度** 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか?活用できる助成金制度について教えて欲しい。
- 人事労務** 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。
- 精神疾病** メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?
- その他** 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関する課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家をご紹介

協会・顧問弁護士
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営
コンサルタント

その他
各専門家

お問い合わせ：一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp